

ひまわり通信

№4 平成20年 7月25日
新潟市立東青山小学校
校長 斎川 英子
児童数 619人

(231)9611 fax(231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp



子どもたちの夏休み

ここ数日間の記録的な暑さの中でも、子どもたちは、グラウンドいっぱい走り回ったり、水泳を楽しんだりして、まとめの学習に精を出していました。

これも、「地域と学校パートナーシップ事業」をはじめ、大勢の保護者や地域の方々からの教育活動への温かいご支援のたまものと心から感謝申し上げます。

さて、いよいよ明日から子どもたちの待ちに待った夏休みが始まります。健康で豊かな体験に満ちた37日間を過ごさせたいものです。

豊かな体験と言うと、子どもにたくさんの体験をさせればいいと考えがちですが、そうではありません。子どもにとって価値ある体験をさせたいものです。例えば、家族の一員として家の仕事を任せる、親の働いている姿を見せる、近所の人と触れ合いをもつなど、学校のある日にはできないことを体験させてみてはどうでしょうか。

また、家族との触れ合い、語らいの時間をたくさん作ってほしいと願っています。自分を大切に育ててくれる家の人、咲いている花を見て「ああ、美しい。」と感じたとき、そばにいる子どもにその人の心や穏やかな感情が伝わります。悲しいニュースに涙を流す人のそばにいる子どもは、大切な人の涙を見て、その感情が伝わります。

子どもを慈しむ周りの大人たちが、日々の触れ合いや語らいの中で、愛情の尊さ、美しさを悟らせ、人間の生き方を肌で感じとらせていくことこそ大切ではないでしょうか。夏休みには、ご家族のみなさんから子どもたちの心にたくさんの贈り物を届けてください。きっと夏休み明けには、その贈り物が他の子どもや学級の人みんなに届けられることでしょう。「人からもらった気持ちを大切にすることは、人に差し出す気持ちを大切にすることと同じ」と言われるように。



中学生の職場体験活動から

7月15、16日の2日間、小針中学校の2年生4名が、当校に職場体験にやってきました。「先生以外の方々の仕事を体験したい。」の要望を取り入れ、用務員、調理員の仕事の一部もたっぷり体験してもらいました。

4名の生徒は、校舎周りの草取り、給食の後始末、資料室の整備、小学生の昼休みの遊び相手など、実によく働いてくれました。私は、その姿に、真剣な眼差しに、熱く胸を打たれました。



丸つけをする中学生 撮影 伊丹教頭

(前略) 東青山小学校のみなさんは、みんな元気でキラキラ輝いていました。私達にもたくさん声をかけてくれてとても嬉しかったです。いつまでもこの笑顔でいてほしいと思いました。また、「なかよしタイム」はとてもいい取組だと思いました。私も、運動の内容を決められるより、自由に体を動かした方がやる気が出て楽しくできると思いました。二日間やさしくご指導くださり、本当にありがとうございました。

(小針中学校二年生の礼状から)